

雨の降り方で雨災害のランクを知る



雨の降り方で現状の雨の内容を知る方法を教えてください。



①雨の予報用語： やや強い雨 1時間雨量10mm～20mm

雨の特質： 地面からの跳ね返りで足元が濡れます。ザーザーと降ります。

②雨の予報用語： 強い雨 1時間雨量20mm～30mm

雨の特質： どしゃ降り、傘をさしていても濡れます。

③雨の予報用語： 激しい雨、1時間雨量30mm～50mm

雨の特質： 道路が川のようになります。バケツをひっくり返したように降ります。

④雨の予報用語： 非常に激しい雨 1時間雨量50mm～80mm

雨の特質： ゴーゴーと音を出して降ります。傘は役にたちません。車を運転するのは危険です。

⑤雨の予報用語： 猛烈な雨 1時間雨量80mm以上

雨の特質： 息苦しいような圧迫、恐怖を感じます。



避難情報の発令と避難行動



河川の水位情報による避難行動について教えてください。



避難情報と発令と避難行動は以下の通りです。

各市区町村によって微妙な違いがありますから詳細は確認してください。

避難情報の発令と避難行動の内容		
水位の名称	避難発令内容	行動内容
水防団待機水位	—	水防団が待機します。
氾濫注意水位 (氾濫注意情報)	—	洪水に関する情報に注意します。 水防団が出動します。
氾濫判断水位 (氾濫警戒情報)	避難準備 高齢者等避難開始	避難の準備を始めます。 (家族等への連絡・非常用持出品の準備) 要介護者や避難に時間のかかる人は避難場所 への避難を始めます。 避難支援者は支援行動を始めます。
氾濫危険水位 (氾濫危険情報)	避難勧告 避難指示(緊急)	避難勧告 避難場所への避難を始めます(立ち退き避難) 避難指示 直ちに避難を完了します(立ち退き避難) 立ち退き避難が間に合わない場合は、生命を 守る最低限の行動をとります。 (屋内安全確保)

避難の仕方と心得



避難の仕方について教えてください



避難行動には、今いる場所よりも安全な場所に移動する「**立ち退き避難（水平避難）**」と、今いる建物内で安全な場所に向か「**屋内安全確保（垂直避難）**」があります。

風水害の避難行動では、避難所等に移動する「立ち退き避難」をしますが、浸水後には無理に屋外へ移動しないで「屋内安全確保」を行います



避難の心得について教えてください



● **自主的に避難する**

テレビやラジオで最新の気象情報・災害情報・避難情報を確認します。雨の降り方や浸水状況に危険を感じたら、自主的に避難します。

● **家を出る前にすること**

ガスの元栓を閉めます。電気のブレーカーを切ります。避難する旨を親戚や知人に連絡します。

● **避難時の服装**

動きやすい服で避難します。運動靴を履きます。長くつ、サンダル、ヒールなどは絶対ダメです。

● **避難中の注意点**

車で避難しない。人が歩ける水の深さは、ひざ下程度です。長い棒を杖代わりにして、側溝やマンホールの蓋が外れていないか確認して歩きます。



雨の災害の事前対策について教えてください。



●市区町村が提供する土のうで浸水を防止する

各地区町村では市民の方々が自由に活用できる「土のう」を用意しています。ただし、提供できる「土のう」には数に限りがあります。それと、「土のう」の運搬と利用後の処分は利用者がすることになっています。使用するには各地区町村に尋ねます。

●水のうを作って屋内の浸水を防止する

- ・家庭にあるゴミ袋を使った「簡易水のう」は浸水防止、排水口、トイレの逆流防止に役に立ちます。

「簡易水のう」はそれ以外にも使用後に水として再利用できます。

■簡易水のうの作り方

- ・45リットルのごみ袋を二重にします。袋のなかに半分程度の水を入れます。
- ・袋の口をしっかり縛ります。

■簡易水のうの使い方

- ・出入口などに隙間なく並べます。
- ・ダンボール箱を並べてその中に簡易水のうを入れると連結水のうができますから出入り口に並べて浸水を防ぎます。
- ・水のうを風呂場や洗濯機の排水口の上に置くと逆流を防げます。
- ・水のうをトイレの便器の水たまりに置くと逆流を防げます。

